

愛媛県久万高原町から記録されたムギツク

清水孝昭¹・牧野智光²・三野真弘²¹ 愛媛県農林水産研究所水産研究センター ² えひめ虫魚部写真1 *Pungtungia herzi* ムギツク (TKPM-P 27589)

種の記録

Gobionidae カマツカ科

Pungtungia herzi Herzenstein, 1892

ムギツク(写真 1)

標本 徳島県立博物館魚類標本(TKPM-P) 27589, 標準体長 79.8mm, 2026 年 8 月 7 日, 愛媛県久万高原町七鳥 仁淀川水系直瀬川(33.644615N, 132.990073E), 投網.

種の特徴

体はやや細長く, 側扁する. 吻端はやや尖り, 頭部背面は平坦. 上顎の後端に一对のひげがある. 背鰭の先端は丸みを帯び, 基底後端は臀鰭起部よりも前に位置する. 胸部腹面は有鱗. 吻端から眼を通り尾鰭に達する太い 1 暗色縦帯があり, これより背面は暗黄褐色, 腹面は淡い輝黄褐色. 各鰭は黄色味を帯びる.

備考

標本個体は上記諸特徴が細谷(2013)のムギツクと一致したため本種と同定された. 本種は国内では福井県・岐阜県・三重県以西の本州, 四国北東部, 九州北部に分布する(細谷, 2013). 本種が得られた直瀬川は高知県太平洋側へ流入する仁淀川の上流域部分である愛媛県側を流れる面河川の支流となる. 本種は仁淀川水系全体で少なくとも 1990 年以前には記録が見られず(伊藤, 1985; 環境庁自然保護局, 1987), 国内外来種と考えられている. 高知県側では 1991 年に大渡ダム周辺の調査で確認されて以降, 近年まで流域の各所で記録されているが(高橋ほか,

2023; 国土交通省河川水辺の国勢調査河川環境データベースシステム <https://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/index.html>:2026 年 8 月 8 日参照), 愛媛県側では公式な記録がなく, 本報告が標本を基にした初記録となる. 今回の地点では 1 尾が確認されたのみであるが, 目視では面河川と久万川の合流点周辺を中心に, 数年前から広範囲で稚魚, 成魚が確認できており, 近年愛媛県側でも分布が広がってきている可能性がある.

引用文献

- 細谷和海. 2013. コイ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 308–327, 1813–1819.
- 伊藤猛夫. 1985. 仁淀川—その自然と魚たち—開発の中に生きるようす. 仁淀川水系河川生態研究会・仁淀川漁業協同組合. 260pp.
- 環境庁自然保護局(編). 1987. 第 3 回自然環境保全基礎調査 河川調査報告書 四国版. 環境庁. 56+22+63+88+37pp.
- 高橋弘明・近藤英文・坂本匡祥. 2023. 高知県高岡郡越知町横倉山周辺の河川における魚類相. 南予生物, 21: 1–19.

(2026 年 8 月 19 日受付, 2026 年 8 月 21 日公開)

清水孝昭(e-mail: simizu-t@sky.hi-ho.ne.jp)

(Takaaki Shimizu, Tomomitsu Makino, Masahiro Mino. 2026. Record of *Pungtungia herzi* (Gobionidae) from Kuma Kougen Town, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26019)